

回覧

近津尾だより

第十四号

2021年2月



近津尾神社総代会

新年を迎え新型コロナの一日も早い終息を、そして希望の年となるようお祈りしております。ご奉獻とご協力に御礼を申し上げます。

祭事等のご報告

昨年の10月 草木祭 11月 七五三祭そして「延期」していました宵宮祭・例大祭を、12月には新嘗祭・御火焚祭、除夜祭を執り行いました。いずれもコロナ禍対応で自治会長様・農業組合長等と神社役員のみでの参列で行い、例大祭についても残念ながら「お稚児行列」「お神輿巡行」を中止致しました。例大祭に際しては多くの奉加を頂き誠にありがとうございました。今後の神社祭事・整備等に活用させていただきます。

年末には恒例の神社役員による“しめ縄作り”を行いました。乾燥させた藁（わら）を叩き、編み込んでいきます。手水舎用の小さなものから大鳥居のものまで長短多数のしめ縄を製作し鳥居や建造物、神木等に飾り付けました。

年が改まり大晦日から元旦にかけては、コロナの影響か例年より少なめとはいえ元気な若者の集団など多くの皆様の参拝を頂きました。

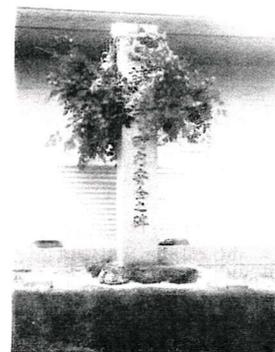
新年の行事として「元旦祭」「山の神祭」「日待祭」を行い地域の安心と発展をお祈りしました。正月10日には神徒仲間の皆様により「勧請祭」が催され、地域住民の安寧を願い今年も立派な勧請縄（*参照）が神社参道上・国分入口（旧道新幹線南の石碑）に飾られました。

2月に入り「節分祭」では“福は内、鬼は外”に加え“コロナは外”も唱えながら豆をまきました。引き続き「厄除祈禱祭」「還暦祈禱祭」を執り行いました。

基壇部修復

年末には、丸山敏幸様（大石龍門在住）のご寄進により摂社雨壺神社と洞神社神舎の基壇部・礎石部分を修復させていただきました。誠にありがとうございました。

修復された雨壺神社基礎部分



旧道横の勧請縄



<裏に続く>